

2026年度 北見藤高等学校シラバス

(教科)【科目】	(情報科)【情報Ⅰ】	2年	2単位	教科書	東京書籍 新編 情報Ⅰ	副教材等	東京書籍 情報Ⅰ Step Forward! Life is Tech Lesson	履修対象・ 使用教室 等	2年生アクティブ 情報処理事業・HR教室
教科・ 科目の 目標	情報に関する科学的な見方・考え方を重視するとともに、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための知識及び技能を身に付け、実際に活用する力を養うとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養うことを目指している。								
評価の 観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
	情報と情報技術についての知識と技能、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法についての知識と技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについては、情報に関する法規や制度及びマナー、個人が果たす役割や責任等について、情報と情報技術の理解を併せて身に付ける。			情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、様々な事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力を養うとともに、問題を発見・解決する各段階で情報と情報技術を活用する過程を振り返り改善することで、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。			情報と情報技術を適切に活用することを通して、法規や制度及びマナーを守ろうとする態度、情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養い、これらを踏まえて情報と情報技術を活用することで情報社会に主体的に参画する態度を養う。		
	＊単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいて「観点別評価」を行い、「A：「十分満足できる」状況 B：「概ね満足できる」状況 C：「努力を要する」状況」とする。 ＊単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総括的な評価を行ったものを「5段階の評定」とする。								
評価 資料・ 評価 比重 (100点換 算)	評価資料等		予定回数・内容等		知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	授業中の課題		毎回課題を出します。		25%		25%		
	ミニテスト		50回ほどを予定しています。		50%		50%		
	検定試験		ワーク検定を授業内に実施します。		25%		25%		
	レポート		夏・冬休みに課題を出します。						20%
	Life is Tech Lesson		適宜指示を出します。						50%
	ワーク提出		6回						30%
(観点別配分%)		(3観点の比重を%で示しています)							
月進行 (計画)	【単元名】 学習項目名	配当 時間 (計画)	学習内容・目標 (到達点) など			主な評価資料		評価の重み付け(%)	
						知・技	思・判・表	態度	
4 5	・ガイドス ・文書処理ソフトウェアの操作 ・教科書 1 章～ 1	12	・Society5.0から情報Ⅰの学習目標とシラバスを理解する。 ・実習用コンピュータの使い方を理解する。 ・文書処理ソフトウェアについて、書式の設定や配置の変更など基本的な操作を学習する。 ・文書処理ソフトウェアで図、表、画像を利用する方法を学習する。 ・デレクトリやファイルの操作について学習する。 ・情報の特性から、情報とは何かを理解する。 ・さまざまなメディアの特性を理解する。			ミニテスト	○	○	
						授業中の課題	○	○	
						ワーク提出			○
6 7	・教科書 1 章～ 2 ・教科書 1 章～ 3 ・教科書 1 章～ 4 ・教科書 1 章～ 5 ・教科書 1 章～ 6 ・教科書 1 章～ 7 ・教科書 1 章～ 8 ・教科書 1 章～ 9 ・教科書 1 章～ 10	12	・問題を発見・解決するための一連の流れを理解する。 ・問題の発見・解決に情報技術が活用できることを理解する。 ・問題解決の各場面で活用できる発想法を学習する。 ・情報社会で生活していくための情報モラルを理解する。 ・情報社会の安全を守るための、法規や制度および個人の責任について学習する。 ・個人情報とはどのようなものか理解する。 ・SNSを通して個人情報流出・特定される仕組みを学習する。 ・SNS等の不適切な使い方による問題を理解する。 ・ソーシャルエンジニアリングにより不正に情報が盗まれることを理解する。 ・著作権について理解する。 ・引用の仕方を理解する。			ミニテスト	○	○	
						授業中の課題	○	○	
						ワーク提出			○
8 9	・表計算ソフトウェアの操作 ・データの形式 ・データベースの活用 ・さまざまなデータモデル ・データ分析の流れ	12	・表計算ソフトウェアの書式の設定や配置の変更など、基本的な操作を学習する。 ・表計算ソフトウェアでの数式の利用を学習する。 ・表計算ソフトウェアでの関数の利用を学習する。 ・デレクトリやファイルの操作について学習する。 ・データとは何か学習する。 ・データの尺度とは何か学習する。 ・データベースの役割がどのようなものか理解する。 ・社会でのデータベースの活用例を学習する。 ・データベースで使用するデータモデルについて学習する。 ・データ分析の流れと方法を学習する。 ・分析の目的に合わせたデータの利用方法を学習する。 ・適切なデータの解釈方法を学習する。			ミニテスト	○	○	
						授業中の課題	○	○	
						ワーク提出			○
10 11	・教科書 2 章～ 1 1 ・教科書 2 章～ 1 2 ・教科書 2 章～ 1 3 ・教科書 2 章～ 1 4 ・教科書 2 章～ 1 5 ・教科書 2 章～ 1 6 ・教科書 2 章～ 1 7 ・プレゼンテーションソフトの操作 ・プレゼンテーション	12	・デジタルデータのメリットとデメリットを理解する。 ・2進法と情報の単位について学習する。 ・文字のデジタル表現について学習する。 ・音、画像、動画のデジタル化について学習する。 ・デジタルでの色の原理を理解する。 ・デジタル情報の品質の違いについて学習する。 ・データの圧縮について学習する。 ・プレゼンテーションソフトウェアの書式の設定や配置の変更など、基本的な操作を学習する。			ミニテスト	○	○	
						授業中の課題			
						ワーク提出			○
12 1	・教科書 3 章～ 2 1 ・教科書 3 章～ 2 2 ・教科書 3 章～ 2 3 ・教科書 3 章～ 2 4	12	・プレゼンテーションソフトを用いて、5～10分のプレゼンを実施する。 ・アルゴリズムの必要性を理解する。 ・アルゴリズムの表現方法について学習する。 ・プログラムの作り方について学習する。 ・プログラムの制御構造について学習する。			ミニテスト	○	○	
						授業中の課題	○	○	
						ワーク提出			○
2 3	・教科書 3 章～ 2 5 ・教科書 3 章～ 2 6 ・教科書 3 章～ 2 7 ・教科書 2 章～ 2 8	10	・プログラミングソフトを活用して、実際にコードを書き、実行することができ る。			ミニテスト	○	○	
						授業中の課題	○	○	
						ワーク提出			○
学習の アドバイス	・世の中には様々な情報で溢れています。誰かが日常で行う何気ない会話、撮影した写真、SNSに登録した内容、それらすべてが貴重な情報です。情報Ⅰでは授業を通してコンピュータの扱い方を身に付けるだけでなく、それらの情報を正しく扱い、効果的に活用できるようになるようになってほしいと思っています。普段から情報や情報に関する技術に関心を持ち、身近にあるスマートフォンやパソコン等を扱う際も、セキュリティやモラルを意識してください。 ・情報の授業は担当者の話を聞くだけでは身に付きません。コンピュータ操作が苦手な人はまずはマネから始めてみましょう。得意な人は様々な機能や自分にしか作れないような作品を作るにどうするか考えてみてください。また、普段の取り組みや提出物は成績に大きく反映されます。授業の時間だけでは課題が終わらないこともあります。放課後を活用し、必ず提出物は全て出すようにしてください。								